

湾岸ミッドナイト MIDNIGHT™



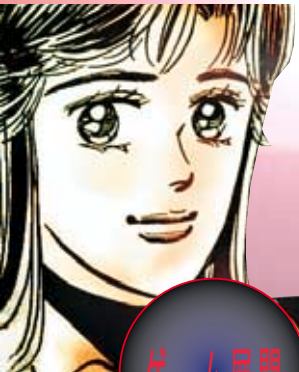
湾岸ミッドナイト

作品紹介

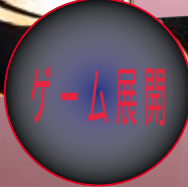
主人公の朝倉アキオは解体屋から偶然見つけたフェアレディS30Zに魅せられ、Z31（フェアレディ300ZR）から乗り換える。しかし、そのS30Zは、地獄のチューナー・北見淳が制作した信じられないスピードを出すマシンだった。数々の事故を重ねてオーナーが入れ替わるうちに、そのマシンはいつしか「悪魔のZ」と呼ばれるようになったのだ... 湾岸ミッドナイトは、「悪魔のZ」に魅せられ、巻き込まれてゆく首都高の走り屋達の物語である。作者は「シャコタン・ブギ」などで知られる桶みちはる氏で、ヤングマガジンで好評連載中!



© 桶みちはる / 講談社



人気コミックス『湾岸ミッドナイト』の世界観を舞台に、プレイヤーは湾岸最速を目指す新参者として挑むことになる。キミは「悪魔のZ」に巡りあい、そして勝つことができるか...!?



実時間で1分経過することにゲーム中の時間は1時間が経過する。

ライバルカーを探す

このゲームはコイン投入前にシフトレバーを動かすと、最初に戦うライバルカーを選ぶことができる。時間帯によって車の量が変わるので、自分に適したタイミングをみつけてコインを投入しよう。また、ブレーキを踏みながらスタートするとタイムアタックモードがプレイできるぞ。

プレイヤーカー選択

コインを投入したら、まずは車種を選択する。車は国産のターボカー12種類から選択可能。続いてボディカラー、ミッションを選択。そして、最後にナンバープレートにネームを登録すれば準備完了だ。



ボディカラーは実際のカatalogに存在する色が用意されている。



ナンバープレートへのネーム登録は、ハンドルとシフトを使って簡単に入力できる。



湾岸コース図

バトルシステム解説

ゲームはまずフリー走行からスタートする。ライバルカーを発見したらバトル開始!バトルは画面上部に表示されているライフゲージで決定する。車間距離が離れると後ろの車のライフゲージが減ってゆき、ゼロになった時点でゲームオーバーだ。また、制限時間内に勝負がつかない場合は、ライフに関係なく前にいる方が勝利となるのだ。



ライバルカーを発見したところからバトルが始まる。



接戦時はライフゲージが減らない。ライバルの後ろに位置し、タイムオーバー直前に一気に抜くもテクだ!



ステージは全部で8ステージ、中には3つ巴のバトルなどもある。キミは「悪魔のZ」に勝つことができるか!?



サウンドも必聴!

『湾岸ミッドナイト』のサウンドは、古くからのゲームミュージックファンにはお馴染みの古代祐三氏が担当している。ここでは古代氏からのコメントを紹介しよう。

古代祐三：(株)エインシャント専務。80年代後半から数々のゲームサウンドを手がけ、今なおゲームミュージックファンからカリスマ的支持を受けている。

「レースゲームといえばテクノやハウスなどの機械的なBGMが中心でしたが、この『湾岸ミッドナイト』では登場するドライバーたちの魂に呼応するような、ハートフルな哀愁漂うメロディを、ドラマティックでスピード感あふれたスタイルにアレンジしました。特にオーケストラサウンドで盛り上がるボス曲の数々は必聴ですよ!」

開発者が語る

最速への道

バトル中、各ライバルキャラには原作を反映したイベントが用意されており、そこが攻略ポイント(逆転のチャンス)でもあります。例えば、エイジは湾岸線下りのトンネル後にスロウダウンしたり、黒木は大井トンネルの前でエンジンプローしたり...という感じです。もちろんライバルが有利になるイベントも存在します。現実世界でこのように走ることは許されませんから、ゲーム中でハイスピードなバトルを堪能して下さい!

そこまでいかなければ見えない世界があり、

そこまでいってこそわかる世界があるんです。(小山ジュニチロウ)

走り続けることの強さとそしてその優しさを感じてください。(小林ケイ)